

教 育 警 察 委 員 会 委 員 協 議 会 記 録

1 会議の日時	令和 3年 8月31日	開 会 午後 0 時 56 分 閉 会 午後 2 時 52 分
2 会議の場所	厚 生 環 境 委 員 会 室	
3 出席者	委 員	委員長 田 中 勝 士 副委員長 恩 田 佳 幸 森 正 弘 伊 藤 秀 光 林 幸 広 長 屋 光 征 平 野 恭 子 森 益 基
	執 行 部	別 紙 配 席 図 の と お り
4 事務局職員	主査 早野 ひとみ	主事 松本 健汰

5 会議に付した案件		審 査 の 結 果
件	名	
1	いじめの未然防止と早期対応に向けた取組みの充実について	
2	教職員の不祥事について	
3	総合通信指令システムについて	
4	その他 ・夏休み終了後の学校の対応について	

## 6 議事録（要点筆記）

### ○田中勝士委員長

ただいまから、教育警察委員会委員協議会を開会する。

本日の協議会は、委員会の所管事項の調査や施策の評価の充実を図るために開催したものである。

議題は、お手元に配付した「次第」のとおりである。

なお、本日の委員会は最初に教育委員会、続いて警察本部の順に進めたいと思う。

説明員については、今回の議題を所管する所属を中心に出席いただいているので、あらかじめご了承ください。

それでは、執行部から説明をお願いします。

まずはじめに、「いじめの未然防止と早期対応に向けた取組みの充実について」を議題とし、執行部の説明を求める。

（執行部 堀教育長 挨拶）

（執行部 増田学校安全課長 説明）

### ○田中勝士委員長

ただいまの説明に対し、質疑はないか。なお、質疑は一問一答をお願いします。

### ○長屋光征委員

市町村立小中学校など市町村教育委員会管轄内でのいじめ事案については、県教育委員会ほどの程度関与するのか。

### ○佐藤学校安全課生徒指導企画監

県教育委員会と市町村教育委員会では、毎月1回各教育事務所で開催するいじめ対策連携会議において、事案の検討や支援のために弁護士を紹介するなどの指導助言を行うなどお互いの連携強化を図っている。

### ○長屋光征委員

いじめ事案が発生した後は、どの程度関与しているのか。

### ○佐藤学校安全課生徒指導企画監

基本的には市町村教育委員会が対応するが、相談・要請があれば、指導助言や関係機関との連携を図るなどのサポートをしている。

### ○長屋光征委員

いじめ対策連携会議はいつから始めたものか。

### ○佐藤学校安全課生徒指導企画監

岐阜市でのいじめによる自死事案が発生してから改めて設置したもの。

### ○長屋光征委員

市町村教育委員会が、いじめ重大事態の発生による第三者委員会を立ち上げた場合、県教育委員会も参加するのか。

### ○佐藤学校安全課生徒指導企画監

市町村教育委員会から要請があった場合には参加する。

○長屋光征委員

いじめ重大事態は基本的にそれぞれの市町村教育委員会で対応すべきだが、要請がなければ第三者委員会に参加しないのではなく、いじめの実態を把握するため県教育委員会がもっと積極的に関与すべきではないか。今までいじめ対策連携会議に重大事態についての相談はあったか。

○佐藤学校安全課生徒指導企画監

多くはないが、数件あった。

○長屋光征委員

市町村教育委員会から重大事態の相談があった場合、教育長はどのように対応するのか。

○堀教育長

岐阜市の自死事案の際にも事務局にいたが、当時の教育長や事務局幹部は、市教育委員会と連携を密にして、今、市教育委員会で何が行われているか常に状況把握した。市町村教育委員会で重大事態が発生した場合には積極的に状況を把握し、必要に応じて指導助言していくのが県教育委員会の役目だと考えている。

○長屋光征委員

いじめ重大事態が発生した場合、責任の所在をはっきりさせることが重要だと思う。文部科学省、県教育委員会、市町村教育委員会などがあり、被害者側がどこに相談すべきか分からない。色々な会議を立ち上げることも良いが、もっと県民にわかりやすい組織体系にすることを要望する。

○堀教育長

今回は未然防止の説明が中心になったが、委員の要望は今後の施策に生かしていく。

○伊藤秀光委員

いじめ防止対策事例演習会の内容は。

○増田学校安全課長

弁護士を講師に招き、様々な事例をもとに、法的観点からいじめに該当するかどうかや、学校としてとるべき対応について、演習を通じて指導をしている。

○伊藤秀光委員

具体的な事例も扱っているのか。

○増田学校安全課長

県内で起きたいじめ重大事態や文部科学省が示す事例を活用している。

○恩田佳幸副委員長

岐阜県の重大事態の件数は。

○増田学校安全課長

文部科学省は、都道府県の数字を非公表としているため詳細な数字は回答できないが、小中高合計で年間10件程度。

○恩田佳幸副委員長

アンケートや電話相談などで事前の情報提供がなく、いじめとして認知された事例はあるか。

○増田学校安全課長

事前の情報提供がない状況でいじめ認知したものはない。面談やアンケートなどで少しでも異変が見受けられたら呼び出して確認をしたり、担任、保護者、友人、スクールカウンセラーなどの情報から、本人に確認をとるなどしていじめの認知をしている。

○長屋光征委員

SNSを活用した相談事業の成果は。

○増田学校安全課長

約12万人の生徒に登録カードを配布して、250人程度から相談があった。相談内容は深刻な事案ではなく比較的軽い事案が多いことから、従来は相談しにくかったちょっとした悩みでも、気楽に相談できるような体制ができたのではないかと考えている。

○長屋光征委員

コロナ禍のなか、児童生徒へはいじめ未然防止について、どのような周知をしているか。

○増田学校安全課長

県教育委員会から直接、児童生徒にメールを送ることができる「すぐメール」を活用して、心の健康や悩みなどの相談窓口を周知している。

○長屋光征委員

児童生徒に、ただいじめをしないように言うだけより、いじめの加害者になった場合に、どうなるかを弁護士等から伝える方が良いと思う。このような取組みを行う予定はあるか。

○増田学校安全課長

県警の協力で、いじめ事案ごとに刑法の適用事例の一覧を作成して、7月に学校へ配布したところ。

○森正弘委員

保護者から相談があったにも関わらず、担任の認識がなかったために報告が上がらず、重大事態が発生するようなことを避けるため、いじめ情報を漏らすことなく把握する体制を整えているか。

○増田学校安全課長

保護者からの情報提供や相談が、直接、県教育委員会にあった場合は、地域担当生徒指導主事が学校に出向いて、解決に向けて対応している。また、「すぐメール」を使ったいじめ相談は、管理職が確認している。

○森正弘委員

いじめ重大事態となる欠席が30日になる前に対応はしていないのか。

○増田学校安全課長

学校では、生徒が3日休んだら家庭訪問を行い、いじめがないかを確認している。いじめが確認できた場合には、関係生徒から事情を聞いたり、本人から状況を確認して、保護者とも相談して対応している。また、学校いじめ対策チームも入って、欠席が30日になる前に解決できるよう対応している。

○田中勝士委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって「いじめの未然防止と早期対応に向けた取組みの充実について」の質疑を終了する。

次に、「教職員の不祥事について」を議題とし、執行部の説明を求める。

(執行部 山田教育管理課長 説明)

(執行部 中村教職員課長 説明)

○田中勝士委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。

○長屋光征委員

処分案件一覧の所属欄に、校名まで記載されているものと「県内公立小学校」などと記載されているものがあるが、その違いはなにか。

○山田教育管理課長

懲戒処分を行った場合、被処分者が所属する校名は原則公表することになっているが、中には、被害者保護を最優先にする観点から、事案を一部非公表、あるいは全部非公表とする場合もある。この資料は、処分時の公表の取扱いを踏まえて記載している。

○長屋光征委員

不祥事はわいせつ関連が多いが、特に18歳未満などの若い人に手を出した教員に対する事前対策として、何か対応されているか。

○中村教職員課長

犯罪心理学の専門家の講演動画を交えた、わいせつ事案の未然防止研修を今年度から実施している。

○長屋光征委員

わいせつは性癖、病的な面も持つ。わいせつ事案で免職や退職となっても、再就職される心配もあるが、対応はしているか。

○中村教職員課長

全国的に見ても令和元年度に過去2番目の件数でわいせつ事案が発生し、全国的課題と捉えている。教育職員免許法上は懲戒免職で免許が失効した場合、官報に掲載されるが、今年度から、わいせつ事案の場合には官報に失効理由も掲載され、40年間遡って検索できることとなったため、それらも活用し適切に手続きを行っていく。

○長屋光征委員

教員が高校生である自身の子に怪我を負わせた事案はどのように発覚したのか。警察沙汰となったのか、この教員自身が自己申告したのか。

○山田教育管理課長

この教員が逮捕されたという報道により把握した。

○長屋光征委員

飲酒運転で逮捕された事案は近年ほかにもあるのか。

○山田教育管理課長

そのような事案は近年起こっていなかった。直近では、平成27年度に高等学校の教員を免職処分に、その前は平成25年度に小学校の教員を免職処分とした事案があった。

○森正弘委員

被処分者の性別、年齢は。

○山田教育管理課長

非公表とした事案があるため事案ごとに回答することはできないが、昨年度と今年度を合わせた男女別内訳は、2人が女性、その他は男性である。年代別では、20代が3人、30代が6人、40代が5人、50代が9人である。

○森益基委員

階層別研修の分類では、20代が初任者、50代が管理職に当たるのか。

○山田教育管理課長

初任者は採用1年目の者が該当する。概ね30代、40代が中堅とすれば、50代は管理職クラスに該当する。

○森益基委員

50代が9人と多いが、ベテラン教員が不祥事を起こす要因は。

○山田教育管理課長

個々の事案の要因は様々であるが、体罰事案を例にとると、不祥事を起こした教員を聴取するなかで、自身が体罰を容認する環境で育ったことが影響しているのではないかと感じている。

○森正弘委員

外国人児童生徒適応指導員は、教員免許を必要とするのか。

○山田教育管理課長

非常勤の会計年度任用職員であり、教員免許を必要としない職である。業務としては、外国人児童生徒と学校との間の支援をしており、通訳や教材の翻訳などを行っている。

○長屋光征委員

部活動の外部講師による、わいせつ行為や体罰等の不祥事防止対策を講じる予定はあるか。

○山田教育管理課長

部活動指導員が就任する際にセクハラ、パワハラ、体罰の防止等の研修を行い、これらを未然に防止する取組みを進めている。

○長屋光征委員

教員の場合と同じく、部活動指導員等の外部人材の場合でも、わいせつ事案等の過去がある人材が手を上げる可能性があり心配。教員同様に防ぐ手段はあるか。

○中村教職員課長

任用の手続きを確認した上で、必要な対応を行いたい。

○長屋光征委員

部活動などの外部講師が体罰やわいせつ行為等を行った場合、処分対象となるのか。

○山田教育管理課長

部活動指導員を含め、会計年度任用職員は一般職であるため、その非違行為は、われわれ常勤職員と同様に懲戒処分の対象となる。

○伊藤秀光委員

わいせつ事案未然防止研修の効果は。

○中村教職員課長

犯罪心理学の専門家に被害者心理等を含めて実施した。密室や生徒等と二人きりにならない等の環境整備を含め、地道に繰り返し周知徹底していくことが大切と考えている。

○伊藤秀光委員

セルフチェックシートはどうか。シートの内容や結果で指導に繋がるのか。

○中村教職員課長

自分がストレスを抱えていないか等について自ら振り返るきっかけや、必要な対応へとつなげる気づきのツールとしている。

○伊藤秀光委員

アンガーマネジメントとは何か。

○中村教職員課長

怒りのマネジメントであり、自分の中の怒りや感情を静めたり、コントロールできるようにするための研修である。

○田中勝士委員長

時間の関係もあるため、これをもって「教職員の不祥事について」の質疑を終了する。

次に、その他報告事項について、執行部から報告がある。

(執行部 松本教育総務課長 説明「夏休み終了後の学校の対応について」)

○田中勝士委員長

ただいまの報告に対して、意見はないか。

○森正弘委員

小中高校生の県下のワクチン接種率は把握しているか。

○松本教育総務課長

小中高校生の接種率は把握していない。優先的に接種をしている市町村があることは把握しており、積極的にワクチンを打っていただいているという感覚はあるが、正確な数字は持ち合わせていない。

○長屋光征委員

子どもから親に感染し、親が重篤化してしまった場合、子どもが責任を感じてしまうというケースを他県の事例で聞いた。場合によっては家族が亡くなってしまうこともある。生徒の心のケアを各学校でしてもらえるようお願いしたい。

また、新任の先生が感染したときに、管理職から怒られたという話を聞いた。軽率な行動で感染したのであれば仕方がないが、普通の生活の中で感染したにもかかわらず、「自己管理ができていない」と言われたと聞く。そういうことがないようにしてほしい。

○林幸広委員

教職員のワクチン接種はどうなっているか。

○松本教育総務課長

コロナの問題は、大変繊細なところがあり、接種したか否かや、罹患したか否かを尋ねるのが難しい。

現在、慎重に配慮しながら調査をしているところ。まだ集計はできていないが、7～8割の教職員が少なくとも1回目の接種を終えているか、その予約を入れているという感じ。詳細は現在調査中である。

○林幸広委員

市町村によっては早く接種できるところがあるようだが、教職員は優先的に接種できるはずでは。

○松本教育総務課長

市町村によって優先的に接種したところや、県の大規模接種会場で県立高校の教員が優先的に接種したことで、この夏休み中にある程度接種は進んでいる。

○森正弘委員

今は緊急事態宣言中であり、一番有効な対策はワクチン接種である。打たないという選択肢があるとしても、教育長の名前で接種を促したり、子どもたちに対しても優先的に接種できるよう市町村に対して要請したりしてはいかかがか。

○堀教育長

なかなか接種を強制できるものではないと考えている。ただ専門家から、あらゆる機会を使って、ワクチンの効用は伝えられている。特に県の感染症対策専門家会議のメンバーでもある村上先生に、3月から県の教育委員にもなっていただいております、アドバイスをいただいている。

現在、村上先生から教員に向けて、感染予防やワクチン接種などについて、オンラインもしくはビデオで発信するという取組みの準備を進めている。こうした取組みを通じて、強く呼びかけていきたい。

○恩田佳幸副委員長

今後もこの状況は長引きそうだが、教育委員会として、どういう状況になったらオンラインや分散登校にするのか数値的なものを示した方が、保護者や地域も情報収集しやすいと考える。夕方のネットニュースなどで初めて知り、後で学校からメールがくるようでは、混乱が生じる可能性があるため検討してほしい。

○田中勝士委員長

時間もきたので、その他報告事項については終了する。

以上で前半の教育委員会関係の議題は終了したが、この際、何か意見等はないか。

また、執行部から何かないか。

(意見なし)

○田中勝士委員長

意見もないようなので、これをもって教育委員会関係の議題を終了する。

執行部入れかえのため、しばらく休憩する。

午後2時25分 休憩

午後2時31分 再開

○田中勝士委員長

ただいまから教育警察委員会委員協議会を再開し、警察本部関係の議題について、説明をお願いします。

「総合通信指令システムについて」を議題とし、執行部の説明を求める。

(執行部 奥野警察本部長 挨拶)

(執行部 柴田通信指令課長 説明)

○田中勝士委員長

ただいまの説明に対し、質疑はないか。なお、質疑は一問一答で願います。

○長屋光征委員

県警察が調査研究している先進的なシステムを取り入れているのは、どの県か。

○柴田通信指令課長

調査先の意向により、県名については非公開としている。

○長屋光征委員

それでは、その県は岐阜県と人口が同規模の県か。

○柴田通信指令課長

同規模の県も含まれている。

○長屋光征委員

現行システムの制作者は日立製作所とのことであるが、NECの各種システムも全国的に広く導入されているという認識である。仮に当県において、今後、NECのシステムを導入して更新整備しようとする場合、システムの連動性等の面からも問題はないのか。

○柴田通信指令課長

全国調査の結果、日立製作所のほかに、NECや富士通のシステムを導入しているところもあるが、更新整備の際、それまでとは別の業者のシステムを導入した事例もあることから、不可能ではないと思われる。

○長屋光征委員

現行システムの更新整備をするに当たり、他県が導入しているストリートビュー等の様々な機能を追加するとなれば、それ相応の予算が必要となるが、どの程度を見込んでいるのか。

○柴田通信指令課長

まだ調査段階ではあるが、前回と同規模の約24億円を見込んでいる。

○田中勝士委員長

意見も尽きたようなので、これをもって「総合通信指令システムについて」の質疑を終了する。

以上で後半の警察本部関係の議題は終了したが、この際、何か意見等はないか。

また、執行部から何かないか。

(意見なし)

○田中勝士委員長

意見もないようなので、これをもって本日の委員協議会を終了する。

# 教育警察委員会配席図【教育委員会】

令和3年8月31日(火)  
厚生環境委員会室

下野 ICT教育 推進室長		日比 教育総務課 教育主管		青木 教職員課 教育主管		佐藤 学校安全課 生徒指導企画監		高木 学校安全課 学校安全企画監
	堀 学校支援課長			神出 教育研修課長		中川 教職員課 教育主管		秋場 学校安全課 生徒指導企画監
山田 教育管理課長			中村 教職員課長			増田 学校安全課長		
		松本 教育総務課長兼 教育対策調整室長			香田 義務教育 総括監			小野 総合教育 センター長
	高橋 教育次長			堀 教育長			北川 副教育長	

出入口

出入口

平野(恭) 委員  
林 委員  
森(正) 委員  
田中 委員長

○  
○  
○  
○

森(益) 委員  
長屋 委員  
伊藤(秀) 委員  
恩田 副委員長

○  
○  
○  
○

スクリーン

# 教育警察委員会委員協議会配席図【警察本部】

令和3年8月31日(火)  
厚生環境委員会室

		西部 会計課長			長良 総務室長			桂川 地域課長
	中嶋 地域部長			奥野 警察本部長			柴田 通信指令課長	

出入口

出入口

平野(恭) 委員  
林 委員  
森(正) 委員  
田中 委員長

○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○

森(益) 委員  
長屋 委員  
伊藤(秀) 委員  
恩田 副委員長

スクリーン